

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society

NO.17

第45回大会を終えて

大会準備委員会委員長 渋谷英章（東京学芸大学）

5月半ばのことだったでしょうか。大会準備のために休日に大学に出ていた時、突然テレビの画面に神戸大学の光景が映されました。神戸市内で新型インフルエンザの感染者が出たために、大学が休講措置をとるというニュースでした。このときから大会当日までの1ヶ月余り、もしかしたら大会を中止しなければならないかもしれないと、気をもむ毎日でありました。今、再び新型インフルエンザの流行のニュースが流れるなかで、ただただ、無事に大会が開催されたことを有難く感じているところです。

第45回大会は、345名の学会会員、82名の臨時会員の計427名の参加者を得て、開催校の東京学芸大学の会員ではない教員や学生も含めると、450名ほどの参加でした。自由研究発表は2日間、のべ35会場で、最終的には148件（ポスターセッション4件を含む）の発表が行われ

ました。2つの課題研究、そして公開シンポジウムでも、予想を大きく上回り、会場がほぼ埋まる参加者数でした。提案者、司会の皆様、そしてご参加いただいた会員の方々に深く感謝いたします。

大会の準備にあたって、諸般の事情から、しっかりと準備委員会体制を組織できないまま、準備に取りかからなければなりません。また、学芸大には連合大学院の博士課程もありますが、修士課程を含めても、比較教育学に関連する大学院生は少なく、十分なスタッフを確保できません。このような条件のなかで、「盛大で立派な大会を成功させよう」などということは無理であると決断し、「必要最小限の準備を効率的に行い、極力トラブルを避けて無事に大会を終了させる」ということを心がけました。このため、準備が遅れがちになり、

第46回大会のご案内

第46回大会は、神戸大学において、以下の要領で開催されることになりました。

多数の会員の皆様にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

日 程：2010年6月26日（土）－27日（日）

会 場：神戸大学六甲台キャンパス

連絡先：第46回大会準備委員会委員長 山内 乾史

yama@kobe-u.ac.jp

また、スタッフ不足から準備委員会が昼食の弁当販売を行わないなど、参加された会員の皆様にはご不便をおかけしたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。

他方、今大会では、新しい試みにも取り組みました。今後も自由研究発表の件数が増加し発表会場がますます分散してしまうのではということを考え、参加者の間のインタラクションを促進するためにポスターセッションを試みました。ポスター発表の申し込みは当初7件であったのですが最終的には4件となりました。これでは1会場のみとなってしまうこともあり、ポ

スターセッションと同じ形式で、同時並行して、留学生とのディスカッションを行う特別企画を実施しました。結果として、2つの会場とも十分な参加者を得て、「熱い」討議が展開されたことと思います。チャレンジしていただいた発表者の方々、ありがとうございました。

「無事に大会を終えることができた」と思いたいところですが、今思い返すと、大会準備にあたって改善すべき点がいくつもありました。これらの点をしっかりと検討し、今後につなげていかなくてはと考えております。

<第45回大会の各会場風景>



<課題研究での一コマ>



<シンポジウム>



<英語部会でのDenman会長（ANZCIES）>



<初めての試み・ポスターセッション>

■平塚賞

第19回平塚賞の選考を終えて

平塚賞運営委員会委員長
望田 研吾

第19回平塚賞候補作品について2009年1月15日(必着)締め切りで募集した結果、他薦1点(単著)の応募がありました。2009年2月7日(土)、広島大学教育学研究科において平塚賞運営委員会を開催し、総合点及び各委員による評価に基づき応募作品を審査した結果、鴨川明子会員(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科助教)の著書『マレーシア青年期女性の進路形成』(2008年12月30日東信堂刊)に対して第19回平塚賞を授与することを決定しました。授賞理由は次の

通りです。「本研究は、特に外国人エスニシティに関わる課題に取り組み、女性の教育機会拡大に対するブミプトラ政策や人材育成策の影響を浮き彫りにするとともに、長期にわたるフィールドワークから得られたデータに基づき、青年期女性の性役割観と進路形成との関係性を析出することによって、マレーシアにおける女性の教育機会拡大の構造と過程について、マクロ次元とミクロ次元から明らかにしており、高く評価できるものである。」

第19回平塚賞を受賞して

鴨川明子(早稲田大学)

この度は、拙著『マレーシア青年期女性の進路形成』に対して、平塚賞を授与いただきまことにありがとうございます。12年前、大阪市立大学で開催された年次大会に初めて参加して以来、いつもただ憧れをもって平塚賞の授与式を拝見しておりました。その舞台に立つことができるなどとは思ってもよかったですので、それだけに本当に嬉しく思っております。

これまで、本学会では発表の機会を何度も頂戴しました。迷いながらの拙い発表に対して、温かく指導して下さった諸先生方に心より感謝いたします。また、マレーシアにおいても、様々な場面で支えて下さった方々がいらっしゃいます。多くの方々に支えていただいたからこそその受賞であると感じ、深く感謝致します。

さて、拙著は、素朴な疑問からスタートしております。マレーシアで、なぜ、急激かつ大規模に女性の教育機会が拡大してきたのだろう、

という素朴な疑問です。女性の進路が限定されていると言われる「地方」で育ったこともあり、マレーシアの女性を取り巻く状況に興味を持ちました。

こうした疑問に対して、十分な回答を用意できたとは思いませんし、回答を用意できた先に何が見えるのかもまだ分かりません。ただ、今回の受賞を糧にして、引き続き精進して参りたいと強く思っております。

これまでは、様々な機会を与えていただくばかりでしたが、今後は、マレーシアはじめアジアからの留学生のキャリア形成にも役立つような研究や教育に取り組んで参りたいと思っております。



■平塚賞委員会からのお知らせ

委員長 望田 研吾

来年度の第20回平塚賞候補作品を例年通り下記の要領で募集します。応募は自薦、他薦を問いません。今回は第20回という節目の年に当たります。多くの会員からの応募を期待しています。

1. 対象作品：2009年1月～12月に公刊された比較教育学に関する著書・論文（分担執筆を含む。ただし連名のものを除く）
2. 応募要領：本学会ホームページ掲載の「平塚賞候補著書・論文推薦書」に必要事項を記入し、当該著書・論文1部とともに提出すること。

3. 締め切り：2010年1月15日（必着）

4. 送付先：

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学大学院人間環境学研究院内
日本比較教育学会平塚賞運営委員会
委員長 望田研吾 宛

5. 問い合わせ先：

TEL & FAX 092-642-3114

Email mochida@edu.kyushu-u.ac.jp

なお、平塚賞に関する詳細については、学会ホームページまたは紀要巻末掲載の「日本比較教育学会平塚賞規定」をご参照ください。

■紀要編集委員会からのお知らせ

(1) 『比較教育学研究』第38号（2009年2月刊行）の誤植箇所への対応について

『比較教育学研究』第38号掲載の田中光晴会員の論文「韓国における私教育費問題と政府の対応に関する研究—教育政策の分析を通して—」の中に、執筆者本人に起因しない誤植がありました。この誤植への対応として、紀要編集委員会及び同事務局においては、東信堂と協議を重ね、訂正シールを作成し、会員に対してはこのニューズレターに同封すること、また図書館等の機関および個人購入者に対しては第40号（2010年1月刊行予定）に挟み込むことにより、周知し対応を図ることにいたしました。なお、田中論文の訂正箇所と合わせて、紀要編集委員会事務局が現段階において把握している2ヶ所についても訂正させていただきます。

各会員におかれましては、誤植箇所への訂正シールの貼付をお願いいたします。

(2) 紀要刊行規定および紀要投稿要領の一部改正について

2009年4月30日付けで、紀要刊行規定および紀要投稿要領の一部を改正しました。紀要刊行規定の第9条に「日本比較教育学会倫理綱領を遵守し、」の文言を追加しました。論文等を投稿する場合には、倫理綱領の確認を併せてお願いいたします。

紀要投稿要領においては、「フロッピーディスク」の文言を削除しました。フロッピーディスク対応

のパソコンが少なくなってきたためです。電子媒体としてCD-Rを提出してください。また、連絡の経費節減と迅速を期すために、執筆者の連絡先のメールアドレスを記入して下さい。

(3) 紀要投稿要領の遵守のお願い

投稿論文の投稿規定違反が目立ちます。使用するワープロソフトによっては、書式設定と印字がずれてしまう場合があります。英文抄録は800～1,000ワードです。また、脚註部分が大幅に行数超過しているケースもあります。論文作成のさいには、投稿要領をよく読んで誤りのないようにご注意ください。

(4) 投稿論文の送付先について

紀要編集委員会事務局は、現在（第38号から第43号まで）、東北大学に置かれています。投稿論文の送付先は、下記の住所となりますのでご注意ください。

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
東北大学大学院教育学研究科内
日本比較教育学会紀要編集委員会事務局
TEL&FAX：022-795-3755
E-mail：edit-jces@sed.tohoku.ac.jp

（紀要編集委員長 宮腰 英一）

■事典編纂事業の本格始動について

昨年の大会以来、望田委員長の下で実施可能性について種々検討が重ねられて来た本学会として初めての比較教育学分野の事典編纂事業が全国理事会で承認され、30人からなる編集委員会の陣容も固まって本格始動しました。目下、収録項目お

よび執筆予定者について最終点検中であり、会員各位に執筆を依頼する時期も近いと思います。この画期的事業のために、是非ともご協力くださいますようお願い致します。

(事典編集委員長・大塚豊)

■お知らせ

事務局からの連絡

●新入会員 (2009年2月～9月、入会申込み順)

勢村かおり (東京大学大学院生)
 呉 民錫 (早稲田大学大学院生)
 松本 知子 (早稲田大学大学院生)
 Siffre 友恵 (東京大学)
 大西 弘高 (東京大学)
 黄 儒芬 (京都大学大学院生)
 小貫有紀子 (九州大学)
 野口 剛 (京都大学大学院生)
 座波 圭美 (ユネスコ・アジア文化センター)
 川口 純 (早稲田大学大学院生)
 Diwa Johanna Paula (Mroshima University大学院生)
 崔 杜珍 (釜山大学大学院生)
 Park So Young (Pusan National University)
 金 正燮 (Pusan National University)
 Choi Yoo Joo (Pusan National University大学院生)
 鈴木賀映子 (早稲田大学大学院生)
 清田 夏代 (南山大学)
 千葉みずき (東京学芸大学大学院生)
 Byamugisha Albert K (Ministry of Education and Sports, UGANDA大学院生)
 Park Su-Hong (Pusan National University)
 金 秀妍 (Pusan National University大学院生)
 Sim Hae-Sook (Pusan National University)
 Yun Chae-Young (Pusan National University大学院生)
 Kim Kyung-ran (Pusan National University大学院生)
 関 舒煥 (Pusan National University大学院生)
 Lee Yuna (Pusan National University大学院生)
 金 良粉 (韓国教育開発院)
 Jeong Sun-Young (Pusan National University大学院生)
 李 賢一 (早稲田大学大学院生)
 李 相秀 (Pusan National University)
 Hwang Yoon Won (Pusan National University大学院生)
 徐 美蘭 (Pusan National University大学院生)
 金 炳瑾 (Pusan National University大学院生)
 鄭 芝仙 (Pusan National University大学院生)
 Lee Tae Young (Pusan National University大学院生)
 Lee Ae Sun (Pusan National University大学院生)
 朴 云亨 (Pusan National University大学院生)
 岩崎 未来 (お茶の水女子大学大学院生)
 Kim Taeheon (Pusan National University大学院生)
 ウィルソン エイミー (山口県立大学)
 柳田 幸紀 (横浜国立大学大学院生)
 大橋 知穂 (国際協力機構)
 松原 憲治 (国立教育政策研究所)

井上 慶子 (神戸大学大学院生)
 若松万里子 (神戸大学大学院生)
 北川智佳子 (神戸大学大学院生)
 廣瀬 優 (神戸大学大学院生)
 岩崎 沙織 (神戸大学大学院生)
 梅野 知子 (神戸大学大学院生)
 Regmi Shiva Prasad (神戸大学大学院生)
 竹谷麻莉子 (神戸大学大学院生)
 Kim Tae-eun (Korea Institute for curriculum and Evaluation)
 Kim Kapsung (Korean Educational Development Institute)
 嶋内 佐絵 (早稲田大学大学院生)
 Myagmar Ariuntuya (一橋大学大学院生)
 李 承赫 (一橋大学大学院生)
 島津 侑希 (名古屋大学大学院生)
 岩月 彩香 (名古屋大学大学院生)
 伊藤 博 (University of California大学院生)
 小早川遥平 (神戸大学大学院生)
 宮本 妙子 (アクセルソン ジャパン)
 Mejang Samran (Naresuan University)
 Noparak Sombat (Naresuan University)
 大久保亮宏 (名古屋大学大学院生)
 林 寛平 (東京大学大学院生)
 湯山万里子 (東京大学大学院生)
 伊藤美和子 (大阪大学非常勤講師)
 赤田 拓也 (名古屋大学大学院生)
 田川 千尋 (パリ大学ナンテール校大学院生)
 明 珠 (東京学芸大学大学院生)
 Adhikari Aryal Madhu Maya (名古屋大学大学院生)
 伊藤 光雅 (University Technology MARA, International Education Centre)
 藤原 西児 (龍谷大学学部生)
 水原 清香 (大阪市立大学大学院生)
 松永 彩 (広島大学)
 寺倉 憲一 (国立国会図書館調査及び立法考査局)
 河野 佐智 (神戸大学大学院生)
 蛭川万里子 (名古屋大学大学院生)
 朴 炫貞 (東京大学大学院生)
 吉野舞起子 (コロンビア大学大学院生)
 藤井 美樹 (神戸大学大学院生)
 呉屋 淳子 (名古屋大学大学院生)
 花田 真吾 (ミシガン大学アナーバー校)
 野澤 有希 (筑波大学大学院生)

(2009年9月6日現在の会員数1011名)

●年会費納入のお願い

本ニュースレターに、各会員の年会費納入状況を同封しています。必ずご確認ください、未納分がある方は同封の郵便振替用紙にて早目の納入にご協力をお願い致します。会費は通常会員10,000円、学生会員6,000円です。紀要は年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。

3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

〔郵便振替口座〕 00820-6-16161

日本比較教育学会事務局

〔銀行口座〕 広島銀行西条南支店 普通 3126345

日本比較教育学会 一般会計

※ 銀行振り込みにより納入される方は、入金の際に事務局までご一報下さいますよう、お願い申し上げます。

●学会紀要および『学会40年の歩み』（2004年刊）のバックナンバーを会員価格にて販売しています！

会員の皆様に紀要のバックナンバーを会員価格（定価の7割）にて販売しています。第18号以降の全号、および『学会40年の歩み』の在庫があります。価格については学会HPをご参照下さい。ご希望の方は号数、冊数を明記の上、E-mailまたはFAXにて事務局までご連絡下さい。

●学会への寄贈図書について

以下の図書を、著者・出版社より本学会に寄贈いただきました。厚く御礼申し上げます。

- ・諏訪哲郎・王智新・斉藤利彦編著『沸騰する中国の教育改革』東方書店、2008年。
- ・ドナルド・ケネディ著、立川明・坂本辰朗・井上比呂子訳『大学の責務』東信堂、2008年。
- ・青木麻衣子著『オーストラリアの言語教育政策—多文化主義における「多様性」と「統一性」の揺らぎと共存—』東信堂、2008年。
- ・鴨川明子著『マレーシア青年期女性の進路形成』東信堂、2008年。
- ・小島勝編著『異文化間教育学の研究』ナカニシヤ出版、2008年。
- ・林初梅著『「郷土」としての台湾—郷土教育の展開にみるアイデンティティの変容—』東信堂、2009年。
- ・山崎直也著『戦後台湾教育とナショナル・アイデンティティ』東信堂、2009年。
- ・上田学著『日本と英国の私立学校』玉川大学出版部、2009年。
- ・エリザベス・ヘイズ、ダニエル・D・フラネリー編著、入江直子・三輪建二監訳『成人女性の学習—ジェンダーの視点からの問い直し—』鳳書房、2009年。
- ・大森秀子著『多元的宗教教育の成立過程—アメリカ教育と成瀬仁蔵の「帰一」の教育—』東信堂、2009年。
- ・ソニア・ニエト著、太田晴雄監訳、フォンス智江子・高藤三千代訳『アメリカ多文化教育の理論と実践—多様性の肯定へ—』明石書店、2009年。
- ・山口周三著『資料で読み解く 南原繁と戦後教育改革』東信堂、2009年。
- ・ギル・ヴァレンティン著、久保健太訳『子どもの遊び・自立と公共空間—「安全・安心」のまちづくりを見直す イギリスからのレポート—』明石書店、2009年。

日本比較教育学会事務局

〒739-8524 東広島市鏡山 1-1-1

広島大学大学院教育学研究科

Tel & Fax (082) 424-6231

E-mail jcesjimu@hiroshima-u.ac.jp

URL <http://www.soc.nii.ac.jp/jces/>